

2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 医療総合学科(視能訓練士学科1年制進学コース) | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義演習 |
|--|---|---|------|-------------------|---------------|
| 科 目 名 | 視能学演習Ⅱ | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 60 (4) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年 | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 7F実習室 |
| 担 当 教 員 | 高宮麻也子他(視能訓練士学科1年制教員) | | | | |
| 実務経験とその関連資格 | <p>【実務経験】 視能訓練士として総合病院、クリニックに勤務。光学的屈折矯正検査に従事。</p> <p>【関連資格】 視能訓練士</p> | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | |
| ①眼科の検査について説明と実技ができる。 ②検査レポートが書ける。 ③論文を読み、概要を説明できる。 | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | |
| レポート30%、本試験70% | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | |
| レジュメ | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | |
| 生理光学ドリルの復習。図書の蔵書等を利用した調べ学習。 | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | |
| 事前課題のある時は必ず課題に取り組んでから受講してください。授業の中で不明な点は積極的に質問してください。 | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 | |
| 第1回 | 授業を通じての到達目標 | 屈折異常について理解し、図に描ける。 | レジュメ | 前期の復習をしておく。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 正視とは・近視とは・遠視とは、遠点について | | | |
| 第2回 | 授業を通じての到達目標 | 屈折異常(乱視)について理解し、図に描ける。 | レジュメ | 前回の復習をしておく。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | 乱視とは、乱視の分類、スタームのコノイド | | | |
| 第3回 | 授業を通じての到達目標 | 検査の原理が説明できる。 レンズメーターで単焦点眼鏡の度数を正確に測定することができる。 | レジュメ | 前回の復習をしておく。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | レンズメーター測定(単焦点) | | | |
| 第4回 | 授業を通じての到達目標 | 検査の原理が説明できる。 レンズメーターで単焦点眼鏡の度数を正確に測定することができる。 | レジュメ | 前回の復習をしておく。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | レンズメーター測定(単焦点) | | | |
| 第5回 | 授業を通じての到達目標 | 検査の原理が説明できる。 レンズメーターで単焦点眼鏡の度数を正確に測定することができる。 | レジュメ | 前回の復習をしておく。 | |
| | 各コマにおける授業予定 | レンズメーター測定(単焦点) | | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|-------------------------------|------|------------------------------|
| 第6回 | 授業を通じての到達目標 | 屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。 | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 自覚的屈折検査(レンズ交換法)、他覚的屈折検査 | | |
| 第7回 | 授業を通じての到達目標 | 屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。 | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 自覚的屈折検査(レンズ交換法)、他覚的屈折検査 | | |
| 第8回 | 授業を通じての到達目標 | 屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。 | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 自覚的屈折検査(レンズ交換法)、他覚的屈折検査 | | |
| 第9回 | 授業を通じての到達目標 | 屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。 | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 自覚的屈折検査(クロスシリンダー)実習 | | |
| 第10回 | 授業を通じての到達目標 | 屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。 | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 自覚的屈折検査(クロスシリンダー)実習 | | |
| 第11回 | 授業を通じての到達目標 | 屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。 | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 自覚的屈折検査(クロスシリンダー)実習 | | |
| 第12回 | 授業を通じての到達目標 | 屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。 | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 自覚的屈折検査(クロスシリンダー)実習 | | |
| 第13回 | 授業を通じての到達目標 | 屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。 | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 自覚的屈折検査(クロスシリンダー)実習 | | |
| 第14回 | 授業を通じての到達目標 | 論文を読み、内容を理解する。 | レジュメ | 図書室の蔵書などで眼科領域の蔵書や論文を調べてみる。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 眼科領域の論文を読む。 | | |
| 第15回 | 授業を通じての到達目標 | 論文を読み、内容を理解する。 | レジュメ | 図書室の蔵書などで眼科領域の蔵書や論文を調べてみる。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 眼科領域の論文を読む。 | | |

2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 医療総合学科(視能訓練士学科1年制進学コース) | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義演習 | |
|--|-------------------------|-------------------------------|---------|------|------------------------------|-------|------------|
| 科 目 名 | 視能学演習Ⅱ | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 60 | (4) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 1年 | | 学期及び曜時間 | 後期 | 教室名 | 7F実習室 | |
| 担 当 教 員 | 高宮麻也子他(視能訓練士学科1年制教員) | 実務経験と その関連資格 | | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | | |
| ①眼科の検査について説明と実技ができる。 ②検査レポートが書ける。 ③論文を読み、概要を説明できる。 | | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | | |
| レポート30%、本試験70% | | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | | |
| レジュメ | | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | | |
| 生理光学ドリルの復習。図書の蔵書等を利用した調べ学習。 | | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | | |
| 事前課題のある時は必ず課題に取り組んでから受講してください。授業の中で不明な点は積極的に質問してください。 | | | | | | | |
| 授業の 方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | | |
| 第 16 回 | 授業を 通じての 到達目標 | 屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。 | | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 自覚的屈折検査(クロスシリンダー)実習 | | | | | |
| 第 17 回 | 授業を 通じての 到達目標 | 屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。 | | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 自覚的屈折検査(クロスシリンダー)実習 | | | | | |
| 第 18 回 | 授業を 通じての 到達目標 | 屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。 | | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 自覚的屈折検査(クロスシリンダー)実習 | | | | | |
| 第 19 回 | 授業を 通じての 到達目標 | 屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。 | | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 自覚的屈折検査(クロスシリンダー)実習 | | | | | |
| 第 20 回 | 授業を 通じての 到達目標 | 屈折検査ができ、正しく記載できる。検査の原理が説明できる。 | | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | 自覚的屈折検査(クロスシリンダー)実習 | | | | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-------------|--------------------------------|------|------------------------------|
| 第21回 | 授業を通じての到達目標 | 疾患の原因、症状、所見、検査、治療が理解できる | レジュメ | 前期の解剖の復習をしておく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 疾患ごとにまとめたレジュメを配布し、書き込み式で進めていく。 | | |
| 第22回 | 授業を通じての到達目標 | 疾患の原因、症状、所見、検査、治療が理解できる | レジュメ | 前期の解剖の復習をしておく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 疾患ごとにまとめたレジュメを配布し、書き込み式で進めていく。 | | |
| 第23回 | 授業を通じての到達目標 | 疾患の原因、症状、所見、検査、治療が理解できる | レジュメ | 前期の解剖の復習をしておく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 疾患ごとにまとめたレジュメを配布し、書き込み式で進めていく。 | | |
| 第24回 | 授業を通じての到達目標 | 疾患の原因、症状、所見、検査、治療が理解できる | レジュメ | 前期の解剖の復習をしておく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 疾患ごとにまとめたレジュメを配布し、書き込み式で進めていく。 | | |
| 第25回 | 授業を通じての到達目標 | 疾患の原因、症状、所見、検査、治療が理解できる | レジュメ | 前期の解剖の復習をしておく。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 疾患ごとにまとめたレジュメを配布し、書き込み式で進めていく。 | | |
| 第26回 | 授業を通じての到達目標 | 検査の説明、実技、接遇ができる。 | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 後期に学んだ検査について、ケースを想定して実習する。 | | |
| 第27回 | 授業を通じての到達目標 | 検査の説明、実技、接遇ができる。 | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 後期に学んだ検査について、ケースを想定して実習する。 | | |
| 第28回 | 授業を通じての到達目標 | 検査の説明、実技、接遇ができる。 | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 後期に学んだ検査について、ケースを想定して実習する。 | | |
| 第29回 | 授業を通じての到達目標 | 検査の説明、実技、接遇ができる。 | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 後期に学んだ検査について、ケースを想定して実習する。 | | |
| 第30回 | 授業を通じての到達目標 | 検査の説明、実技、接遇ができる。 | レジュメ | 授業内に検査内容をしっかりメモし、後でまとめておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 後期に学んだ検査について、ケースを想定して実習する。 | | |